

遊びや場面		自然に触れて		知識及び技能の基礎			思考力、判断力、表現力等の基礎				学びに向かう力、人間性等				
接続期までの遊びや学びのプロセス				・植物に触れ、季節ごとの葉の色や感触の違いに気付く。 ・自然物に触れ、肌触りや硬さの違いを知る。			・自然物を遊びに取り入れ、考えたり、試したりして遊びを創り出す楽しさや喜びを味わう。				・花の色や大きさなどに興味をもち、感じたことを言葉で表現しようとする。				
0歳		・戸外に連れて行ってもらうことを喜び、保育者の声掛けで周りの景色を見るようになる。 ・目に入った物を指さしや喃語で伝える。													
1歳		・自分が見つけた物を仕草や片言で保育者に伝える。 ・自然の中にいる気持ちよさを感じる。		幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿		健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
2歳		・自然の様々な事象や変化などに興味をもつようになる。 ・自分の気付き、思いを少しずつ友達に伝え合うようになる。		○							○	◎	◎		◎
3歳		・自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむようになる。		遊びや学びのプロセス											
4歳		・自然の美しさや不思議さに興味や関心をもつ。		・自然の変化や季節の移り変わりを感じたり、気付いたりする。（気温の変化や木々の色付き、風の強さや空の色など） ・散歩中の気付きを友達同士で伝え合い、会話を楽しむようになる。 ・自然事象を遊びに取り入れ、考えたり、試したりしてじっくりと遊ぶようになる。											
5歳前半		・季節によって自然が変化することに気付く。		環境・援助のポイント											
				・子供が自分で気付いていけるような声掛けをする。 ・子供たちの興味や関心を見逃さず共感し、「なぜ?」「なに?」の気持ちをもてるようにする ・子供が発する言葉を汲み取り、保育者と子供、さらに子供同士の会話を楽しめるようにする。											
				小学校のスタートカリキュラム		生活科「きれいなはなをさかせよう」「あきをさがそう」「ふゆをたのしもう」 学校行事：遠足									



